



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

上場会社名 株式会社ツナググループ・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6551 URL https://tghd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 米田 光宏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 沼畑 正輝 (TEL) 03-6897-6400
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	4,354	△3.3	230	27.8	233	26.0	153	29.3
2025年9月期第1四半期	4,504	16.2	180	44.8	185	49.9	118	53.0

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 152百万円(25.7%) 2025年9月期第1四半期 121百万円(55.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	18.41	—
2025年9月期第1四半期	13.92	13.83

(注) 2026年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	4,199	2,133	49.6
2025年9月期	4,443	2,061	45.2

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 2,081百万円 2025年9月期 2,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日~2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	20,500	12.2	1,060	20.8	1,060	18.1	689	34.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期1Q	8,692,622株	2025年9月期	8,692,622株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	356,586株	2025年9月期	395,202株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期1Q	8,330,160株	2025年9月期1Q	8,523,359株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来予測情報の適切な利用に関する説明）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手している情報に基づき当社が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境に改善が見られ、コロナ禍からの経済活動正常化やインバウンド需要の回復に向けた動きが進んでいる一方、物価上昇の長期化による実質賃金の低迷や節約志向の高まり、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響やアメリカの通商政策の影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

国内の雇用情勢につきましては、有効求人倍率は引き続き高水準で推移しており、人手不足の状況は継続しております。労働市場においては、大企業・中小企業ともに賃上げの動きが継続し、所得・待遇改善の傾向が見られる一方、採用競争の激化により人材確保の難易度は高い水準が続いております。特に、当社グループが主に支援するアルバイト・パート領域においては、採用条件の見直しや採用手法の多様化が進むとともに、採用活動の長期化や採用単価の上昇など、企業側の採用負荷が増大しております。

国内の労働人口につきましては、シニア・パートタイム・外国人就業者等の影響により微増、年取の壁を背景とした就業調整の動きが一部で予想されるものの、社会全体としては依然として労働供給が不足しており、企業側は労働時間の確保が引き続き課題となっております。

このような環境のもと、当社グループは“2030年に起こる50億時間の労働需給GAP”解消の大いなる一助になることを目指し、アルバイト・パート領域を中心とした採用コンサルティング及び採用代行等のソリューション提供を通じて、顧客の採用課題の解決と採用活動の最適化を支援しております。当四半期においては、複雑化する採用環境を背景に、顧客の求人予算投下先はより一層変化しており、ペイドメディア（従来の求人広告）採用支援からオウンドメディア（自社求人WEBページ）採用支援への移行が大きく加速しました。その結果、企業側への応募者送客数は前年同期比で増加しており、顧客満足度も高い状態であるものの、売上高においては前年を下回る結果となりました。一方、営業利益に関してはオウンドメディアへの移行が加速した事により粗利率は上昇し、また従前から実施している収益改善効果もあり、営業利益は増益となりました。

併せて当社重要指標である自己資本利益率（ROE、直近12ヶ月で算定）については28.8%（前年同期比4.2ポイント増）、自己資本比率は49.6%（前期末比4.4ポイント増）と収益効率性及び財務健全性についても高い水準で推移しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,354百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益230百万円（前年同期比27.8%増）、経常利益233百万円（前年同期比26.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益153百万円（前年同期比29.3%増）となりました。

当社グループの各セグメント別の業績は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

（ヒューマンキャピタル事業）

ヒューマンキャピタル事業におきましては、企業の採用活動を総合的に支援する「RPOサービス領域」、ITテクノロジーを駆使した人材マッチングサービスを提供する「DXリクルーティング領域」、シニア・主婦・短期単発といった多様な求職のニーズに対応した求人メディアサービスを提供する「セグメントメディア領域」などがあります。

大手企業を中心に高い労働力需要が継続する一方、求人予算の投下先はペイドメディア（従来の求人広告）からオウンドメディア（自社求人WEBページ）へのシフトが想定以上に加速しております。ペイドメディアの利用が多いRPOサービス領域の売上高は1,176百万円（前年同期比20.8%減）とした一方、オウンドメディアの主力商品である『Findin（ファインドイン）』は大手・中小企業両社への導入が引き続き拡大しており、DXリクルーティング領域の売上高は1,086百万円（前年同期比26.5%増）となりました。

これらの結果、ヒューマンキャピタル事業における売上高は3,267百万円（前年同期比6.5%減）、営業利益は449百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

(スタッフィング事業)

スタッフィング事業におきましては、人材派遣および日々紹介を行う「派遣・紹介領域」と派遣スタッフの研修店舗を兼ねたコンビニストアを運営する「コンビニ領域」を展開しております。

派遣・紹介領域につきましては、倉庫・物流系企業向け、医療・介護系企業向けの2軸で派遣事業を展開しております。倉庫・物流系においては派遣繁忙期の需要取込み、医療・介護系については着実に新規顧客数が増加している事を背景に、売上高は368百万円（前年同期比11.2%増）となりました。一方、コンビニ領域におきましては、物価上昇の影響により売上が堅調に推移し、売上高は715百万円（前年同期比4.2%増）となり、事業全体を牽引いたしました。

これらの結果、スタッフィング事業における売上高は1,099百万円（前年同期比4.8%増）、営業損失は11百万円（前年同期は22百万円の損失）となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、本社部門所管のその他の収益を獲得する事業活動等であります。

その他事業における売上高は21百万円（前年同期比45.9%減）、営業損失は207百万円（前年同期は198百万円の損失）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ244百万円減少し、4,199百万円となりました。これは主に売掛金が263百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ316百万円減少し、2,065百万円となりました。これは主に買掛金が171百万円及び未払法人税等が154百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ72百万円増加し、2,133百万円となりました。これは主に利益剰余金が37百万円及び自己株式の処分により24百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、2025年11月10日に公表いたしました通期の業績見通しに変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,148,474	1,112,523
売掛金	1,757,790	1,494,527
商品	57,319	61,564
未収入金	198,510	189,920
その他	151,944	211,896
貸倒引当金	△26,230	△21,403
流動資産合計	3,287,809	3,049,028
固定資産		
有形固定資産	109,640	104,420
無形固定資産		
のれん	222,232	210,536
顧客関連資産	420,207	398,091
その他	85,069	92,814
無形固定資産合計	727,509	701,442
投資その他の資産		
その他	318,860	344,820
貸倒引当金	△350	△350
投資その他の資産合計	318,510	344,470
固定資産合計	1,155,660	1,150,333
資産合計	4,443,469	4,199,361

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	558,191	386,800
短期借入金	10,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	139,112	94,472
未払法人税等	216,237	61,760
賞与引当金	120,484	57,197
未払金	813,441	746,979
その他	489,335	559,439
流動負債合計	2,346,802	2,006,650
固定負債		
長期借入金	10,052	5,054
その他	24,910	53,880
固定負債合計	34,962	58,934
負債合計	2,381,764	2,065,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	705,768	705,768
資本剰余金	613,887	625,679
利益剰余金	936,549	973,752
自己株式	△247,648	△223,450
株主資本合計	2,008,556	2,081,749
非支配株主持分	53,149	52,027
純資産合計	2,061,705	2,133,776
負債純資産合計	4,443,469	4,199,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	4,504,553	4,354,333
売上原価	2,552,856	2,368,602
売上総利益	1,951,696	1,985,731
販売費及び一般管理費	1,771,391	1,755,217
営業利益	180,305	230,513
営業外収益		
受取利息及び配当金	204	18
受取手数料	8,956	1,939
受取和解金	-	2,130
その他	590	669
営業外収益合計	9,751	4,757
営業外費用		
支払利息	2,357	851
支払手数料	485	785
助成金返還損	1,904	-
その他	93	200
営業外費用合計	4,841	1,836
経常利益	185,215	233,434
特別損失		
固定資産除却損	3,471	-
特別損失合計	3,471	-
税金等調整前四半期純利益	181,744	233,434
法人税、住民税及び事業税	16,572	49,921
法人税等調整額	44,015	31,267
法人税等合計	60,588	81,189
四半期純利益	121,155	152,245
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,497	△1,121
親会社株主に帰属する四半期純利益	118,658	153,366

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	121,155	152,245
四半期包括利益	121,155	152,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,658	△1,121
非支配株主に係る四半期包括利益	2,497	153,366

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ヒューマン キャピタル事業	スタッフイング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,479,305	1,018,426	4,497,731	6,821	4,504,553
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,273	31,048	48,321	32,051	80,373
計	3,496,579	1,049,474	4,546,053	38,873	4,584,926
セグメント利益又は損失(△)	401,040	△22,355	378,684	△198,632	180,052

(注) 「その他」の区分は、本社部門所管のその他の収益を獲得する事業活動等であり、管理業務受託事業等が含まれます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	378,684
「その他」の区分の損失(△)	△198,632
セグメント間取引消去	253
四半期連結損益計算書の営業利益	180,305

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に株式会社アドバンスニュースの全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、22,883千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ヒューマン キャピタル事業	スタッフイング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,257,066	1,084,307	4,341,374	12,958	4,354,333
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,570	15,592	26,162	8,067	34,230
計	3,267,636	1,099,900	4,367,537	21,026	4,388,564
セグメント利益又は損失(△)	449,740	△11,605	438,134	△207,192	230,942

(注) 「その他」の区分は、本社部門所管のその他の収益を獲得する事業活動等であり、管理業務受託事業等が含まれます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	438,134
「その他」の区分の損失(△)	△207,192
セグメント間取引消去	△428
四半期連結損益計算書の営業利益	230,513

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

2025年10月1日に当社の完全子会社である株式会社ツナグ・グローバルエージェントの吸収分割に伴い経営管理体制の見直しを図りました。その結果、従来「スタッフイング事業」に含まれていた一部事業を「ヒューマンキャピタル事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(収益認識に関する注記)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ヒューマン キャピタル事業	スタッフイング 事業	計		
RPOサービス領域	1,484,867	—	1,484,867	—	1,484,867
DXリクルーティング領域	858,645	—	858,645	—	858,645
セグメントメディア領域	784,652	—	784,652	—	784,652
業務代行領域	295,615	—	295,615	—	295,615
派遣・紹介領域	—	331,410	331,410	—	331,410
コンビニ領域	—	687,015	687,015	—	687,015
その他	55,524	—	55,524	6,821	62,345
顧客との契約から生じる収益	3,479,305	1,018,426	4,497,731	6,821	4,504,553
外部顧客への売上高	3,479,305	1,018,426	4,497,731	6,821	4,504,553

(注) 「その他」の区分は、本社部門所管のその他の収益を獲得する事業活動等であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ヒューマン キャピタル事業	スタッフイング 事業	計		
RPOサービス領域	1,176,009	—	1,176,009	—	1,176,009
DXリクルーティング領域	1,086,343	—	1,086,343	—	1,086,343
セグメントメディア領域	729,925	—	729,925	—	729,925
業務代行領域	204,908	—	204,908	—	204,908
派遣・紹介領域	—	368,611	368,611	—	368,611
コンビニ領域	—	715,696	715,696	—	715,696
その他	59,879	—	59,879	12,958	72,838
顧客との契約から生じる収益	3,257,066	1,084,307	4,341,374	12,958	4,354,333
外部顧客への売上高	3,257,066	1,084,307	4,341,374	12,958	4,354,333

(注) 「その他」の区分は、本社部門所管のその他の収益を獲得する事業活動等であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。なお、前第1四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	46,549千円	40,754千円
のれんの償却額	16,562千円	11,696千円